



学長式辞



大学歌合唱

独立100周年 (建学126年) 記念式典・祝賀会・記念事業を開催

目 次

7	-ra	^					
	〇独立10	00周年	(建学126年)	記念式	典·神	兄賀会を	開催
							1
	○国際シ	ンポジ	ウム「『言語	』の21世	比紀を	問う」を	開催
							6
	〇協定校	学長ら	による国際	レンポジ	ウム	「21世紀	こへの世
	界の大	学」を	開催	, ,			6
	○シンポ	ジウム	「東京外国語	吾大学の	過去、	現在そ	して来
	来」を	開催…				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7
	〇公開講	座 「21	世紀の世界の	の中の日	本語	枚育」を	開催
							7
	O アジア	・アフ!	リカ言語文化	研究所	「国際	シンポ	ジウム」
	を開催						8
	〇國立台	湾大学	(台湾) とフ	大学間交	流協筑	足を締組	58
	○東京外	国語大	学創立100周	年記念	募金に	こついて	9
	〇平成11	年度永	年勤続者表彰	Ę			10
	○平成11	年度永	年勤続退職者	皆表彰を	実施·		1
	〇平成11	年度外	国語学部卒業	美式・学	位記括	受与式及	び大学
	院地域	文化研	究科学位記控	受与式を	挙行·		12
			前研修開講式				
	○国費学	部留学	生・研究留学	产生入学	元		13
٨	事						
	〇人事異	動					15
	○外国人	教員(外国人教師)	の異動			20
7	ź j						
	○奨学寄	付金の	受入れについ	١٧٠٠٠٠			21
	○海外渡	航					21
Ì	要日誌	(平成1	1年11月2日	~			
		平成1	2年5月1日)			20

学内ニュース

独立100周年(建学126年)記念式典・祝賀会を開催

独立100周年(建学126年)記念式典が平成11年11月4日(木)10時30分より、北区の北とぴあにおいて、各国大使、海外の協定校の学長6来資、OB、教職員、学生など約800名が出席し、盛大に執り行われました。

式典は、本学混声合唱団による大学歌合唱の後、中嶋嶺雄学長の式辞があり、引き続き、小此木八郎 文部政務次官、石弘光一橋大学長、鈴木幸壽東京外国語会理事長より来資の祝辞がありました。

次に本学として初めての名誉博士号がドナルド・キーン氏 (コロンビア大学名誉教授) に贈られ、キーン先生の記念講演が行われました。

本学の歴史をまとめたビデオ「TUFS TOMORROW 歴史の蓄積 21世紀の翔き」を上映し、本学管弦楽団による祝賀演奏が行われ、式典を終えました。

また祝賀会は会場を同じ北とぴあの飛鳥ホールに移し行われ、始終和やかな雰囲気のもと盛会のうち に終了しました。



小比木文部政務次官



石一橋大学長



鈴木東京外国語会理事長



学長よりドナルド・キーン氏へ名誉博士号の授与



ドナルド・キーン氏の記念講演



学長がコンサートマスターで 本学オーケストラが大学祝典序曲(ブラームス)を演奏



本学OCの田丸美寿々さん(ニュースキャスター)司会の祝賀会



ポルトガルのコインブラ大学学生によるファドの演奏

東京外国語大学独立百周年(建学百二十六年)記念式典式辞

本日ここに文部政務次官・小此木八郎殿、一橋大学長・石 弘光殿、東京外語会理事長・鈴木幸辞殿をはじめとする御来賓各位、駐日の各国大使閣下・地域代表閣下、外国から来日された本学協定大学の学長・学院長各位の御臨席、本学教職員および在校生諸君の出席を得て、東京外国語大学独立百周年(建学百二十六年)の記念式典が催されるに至りました。東京外国語大学を代表して、心からの祝意と感謝の念を表させていただきます。

一九九九年(平成十一年)は、本学が高等商業学校附属外国語学校から独立して百周年に当たり、今日、十一月四日は、一八七三年(明治六年)に本学の前身である東京外国語学校が開設されてから百二十六年目の日に当たります。永い歴史と伝統に彩られた本学が、まさに二十一世紀の本学の新しい発展を計るべく、明年秋には府中市の新キャンパスで授業が開始されるという懸案のキャンパス移転統合を目前にして、歴史の画期としての記念式典を催すことができますことは、まことに慶賀すべきことであり、私にとりましても身に余る光栄であります。本学を今日まで支えてきて下さった諸先輩および皆々様に、衷心より厚く御礼申し上げます。

その起源を遡れば、徳川幕府以来の一世紀有数十年の歳月にわたって本学が辿ってきた様々な歴史の断面につきましては、本日の記念式典の一環として、このあと映像で御覧いただくことになっておりますが、これまで大学史をもたなかった本学は、多くの方々の御協力を得て、本日ここに、一五〇〇頁から成る『東京外国語大学史』本巻の刊行という悲願も達成することができました。学長として、重い肩の荷が一つ下りたような気が致しております。この『東京外国語大学史』が広く皆様方の閲読を賜れますよう、謹んでお願い申し上げます。

さて本学は、一九四九年(昭和二十四年)五月三十一日には新制大学としての東京外国語大学となって今日に至っております。従って、本年は、東京外国語大学五十周年でもあります。新制大学当初は十二学科、学生数約一五〇〇名の単科大学としてスタートした本学は、やがて一九六〇年代末期からの数年間、全国で最も激しく深刻な学園紛争の渦中にもさらされましたが、お陰様で現在は新制大学発足時に比べ、その規模はおよそ三倍、外国語学部で教授している専攻語は二十六言語にもなっており、学部生・大学院生および五七〇名もの留学生(留学生比率は全国最高であります)を含む学生総数四三三〇名を擁し、全国共同利用のアジア・アフリカ言語文化研究所および国費留学生の予備教育を中心とする留学生日本語教育センターとともに、まさに「外国学(Foreign Studies)」の総合大学としての発展を目指しております。将来は、本学のすべての学生や教職員が国際語としての英語はもとより、外国語の高度な運用能力を身につけて、居ながらにして異文化交流が可能な、しかも国際的競争力をもち、国際的にも積極的に発信し得る、真に国際的なリーダーを養成し得る大学にしてゆきたいものと考えております。

そのためには、大学がこれまで以上に社会に開かれ、世界に開かれなければなりません。それは、本学の学則にうたわれている建学の理念からして当然のことだともいえましょうが、この当然の事柄が容易に実現し得ないジレンマもまた深刻だといわざるをえないのが現実でもあります。幸いにして、府中新キャンパスの建設は順調に進んでおり、二十一世紀最初の国立大学新キャンパスとして見事な構造の大学が出現することでしょう。しかし、問題は大学の中身であります。永い歴史と伝統を受け継ぐ本学が、その成果に安住して自画自賛におちいることなく、抜本的な自己改革によって、世界にも誇れる大学に生まれ変われるのかどうか、まさにここ一、二年が正念場だといえましょう。そのためには、同窓生をはじめとする社会からの建設的な批判や要望、大学の情報公開、第三者による外部評価などが積極的に交わされねばならないと私は考えております。

すでに御案内のように、明年四月からは先の国会で改正された大学関連諸法が適用されますとともに、 昨今は国立大学の在り方をめぐる論議が各方面で高まっております。国立大学としての本学の将来もま た、これらの動きに直結せざるを得ず、本学が社会の期待や要請に的確に応えつつ、当面する危機を好 機ととらえ、歴史の蓄積を新しい世紀での翔きにつなげてゆくためには、深い状況認識と本当の自己点 検をますます迫られることでありましょう。また同時に、国立大学としての本学がより一層広く社会に 理解され、支持され、尊敬される存在であり続けなければならないと思います。

ときあたかも本学独立百周年(建学百二十六年)の歴史的画期である本日、次の百年を展望しての国立大学の在り方に関し一橋大学、東京工業大学、東京外国語大学、東京医科歯科大学、東京芸術大学の五大学長がこのところ語り合ってきた「五大学ユニオン」の夢が本日の朝刊紙の一つで大きく報じられておりますが、このような夢が実現されるためには、学内外の強い御支持がなければなりません。

こうして様々な意味で、まさに歴史的な岐路に立っているともいえる本学にたいし、ご列席の皆様方のより一層の御支援、御協力をお願い致しまして、私の式辞とさせていただきます。本日はどうも有り難うございました。

一九九九年(平成十一年)十一月四日

東京外国語大学長 中嶋 嶺雄

記念事業総合プログラム

11/4(thu) 10:30~12:00 北とびあ ■式 典 記念式典 名誉博士号授与式と講演 ドナルド・キーン 12:30~14:00 記念祝賀会 ■留学生支援の会主催・留学生チャリティーバザー 13:00~15:00 本学講堂入口ホール 15:00~18:00 本学講堂 ■留学生によるスピーチコンテスト及び民族舞踊・歌・演奏 16:30~18:00 本学3401教室 ■講演 島田雅彦「帰らぬ旅人と私」 ■100周年記念歌披露コンサート タケカワ ユキヒデ他 18:00~19:00 本学講堂 11/5(fri) ■国際シンボジウム「「言語」の21世紀を問う」(明日新聞社後援) 10:00~17:30 本学講堂 分科会1「抗争する二つの力? 一地球化と地域化一」 分科会2「境界の言語と表象」 総合討論「文化の翻訳・翻訳の言語」 11/6(sat)■協定校学長らによる国際シンポジウム「21世紀への世界の大学」 10:00~12:30 本学請堂 ■シンポジウム「東京外国語大学の過去、現在そして未来」 14:00~18:00 本学講堂 第1部「東京外国語大学の歩みをふりかえる(映像)| 第2部「ポスト2000年の東京外国語大学像を求めて」 ■公開講座「21世紀の世界の中の日本語教育」(日本語教育学会、外国語教育学会後援) 9:30~18:00 本学4号館6階大会議室 $10/28 \sim 12/9$ ■連続講演会「21世紀の国際社会と日本」 本学1317教室 10/28, 11/11-25-26 (13:10~14:40) 12/9 (13:30~) 11/26のみ本学講堂 Others ■語学研究所主催公開講座「少数民族の言語と超民族語の世界(3)―アジア・太平洋の島々―」 10/1.8.15.22.29 (毎金曜) 18:30~20:30 本学3302教室 ■総合文化研究所主催連続講演会「言語と表象」(朝日新聞社後援) 本学3401教室 10/7.21.28 (16:30~18:00) 10/13.27 (15:00~16:30) ■海外事情研究所主催国際シンボジウム「記憶と歴史―近代国民国家形成における国民的「記憶」」 2000年3/4 (13:00~16:00) 3/5 (10:00~16:30) 本学4号館6階大会議室 ■AA研主催公開講座「アジア・アフリカの文字がわかる」 13:00~17:00 本学3401教室 10/9-16-30, 11/6 ■AA研主催公開講座「アジア・アフリカの21世紀を読み解くために―人が動く、未来を開く―」 13:00~17:00 本学2316教室 11/13, 12/4-11-18 ■AA研主催国際シンボジウム「南アジアにおける言語接触と収束的発達」 12/6 (12:00~17:00) 12/7~9 (10:00~17:00) 文京区 山上会館 ■東京外語会主催協賛・映画とトークショー「私たちの時代と外語大―激動の学生運動時代を生きて―」 14:00~18:00 本学講堂 11/30 本学キャンパス ■外語祭(各国の語劇、模擬店他)

11/19~23

国際シンポジウム「『言語』の21世紀を問う」を開催

11月5日(金)に独立100周年(建学126年)記念事業国際シンポジウム「『言語』の21世紀を問う」を本学講堂において開催しました。

このシンポジウムは、21世紀において言語がどのように変化、変容、あるいは特殊性を保ち続けながら、いかなる役割を担い、いかなる文化的な可能性を切り拓くべきか討議し、明らかにすること、つまり、人間のあらゆる文化的な営みを包み込んだ「言語」表現の21世紀を展望することを目的として、分科会 1 「抗争する二つの力?―地球化と地域化」と分科会 2 「境界の言語と表象」の後、総合討論「文化の翻訳、翻訳の言語」を行い、活発な意見が交わされました。



協定校学長らによる国際シンポジウム「21世紀への世界の大学」を開催

11月6日(土)に独立100周年(建学126年)記念事業国際シンポジウム「21世紀への世界の大学」を本学講堂において開催しました。

このシンポジウムは、我が国のなかで留学生比率が最も高い異文化交流の拠点になりつつある本学が、 国際的競争力を持つ大学に飛躍するため21世紀へ向けての大学の在り方について討議することを目的と し、当日は国際交流協定締結校の学長7名とともに活発な意見が交わされました。

